

「西の鯖街道」見どころを地図に 高浜から京都・洛中へ

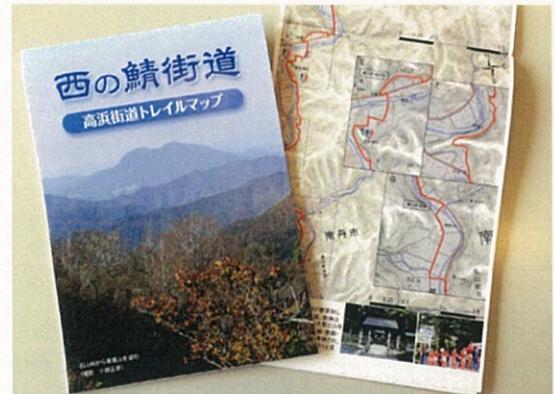
京都市や南丹市、福井県高浜町、おおい町の行政や法人でつくる西の鯖街道協議会が、高浜から京都・洛中までのルートと見どころを紹介した「西の鯖街道・高浜街道トレイルマップ」を制作した。6月から頒布する予定で、同協議会は「マップを手に、街道歩きを楽しんでもらえれば」と期待している。

高浜や小浜から京都へ通じる、総距離77キロに及ぶ西の鯖街道沿線のまちおこしに役立てようと、同協議会のスタッフが現地足を運び、京都学園大の協力も得て1年掛かりで取り組んできた。

西の鯖街道はルートが網の目のようにあると言われる。古くから重要視されていた高浜街道を中心に選び、廃道や自動車道で危険箇所は迂回（うかい）するようにルートを設定。できる限り史実に従い、古道を再現していった。

若狭から京都へは、高浜漁港をスタート地点に、おおい町名田庄を抜け、南丹市美山町から日吉町を縦走、右京区京北、北区大森と通り、鷹峰近くの御土居跡付近がゴール。逆ルートでも、途中からでも見やすいように工夫してある。目印になる遺跡や建物は写真入りで紹介するほか、街道筋の歴史や文化についても解説する。

A5判20ページ。3500部作製。1部に付き協力金500円。問い合わせは京都ゼミナールハウス075(854)0216。



完成した「西の鯖街道・高浜街道トレイルマップ」

【2018年05月20日 15時30分】

Copyright (c) 1996-2018 The Kyoto Shimbun Co.,Ltd. All rights reserved.

各ページの記事・写真は転用を禁じます。著作権は京都新聞社ならびに一部共同通信社に帰属します

[ネットワーク上の著作権について](#) [新聞・通信社が発信する情報をご利用の皆様へ](#)(日本新聞協会)

[電子メディアおよび関連事業における個人情報の取り扱いについて](#)